

授業科目	心理学概論	1 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全教科	選択

科目担当責任者	高橋義信 (教育研究棟 I C809 号) e-mail : yoshi@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	加藤有一、(橋本恵理)		
概要	心理学は、「経験と行動の科学である」と言われています。心理学を学んだことのない人にとって、この言葉が意味する内容は、皆目見当のつかないことかもしれません。いわゆる面白心理学は、学問的な心理学とは以て異なるものです。本講義では、この点を強調しながら、心理学の何たるかを多面的に論じます。とくに、心理学の基礎全般と、医学への応用が重要です。本講義を通して、心理学の基礎を理解すること、また、医学と心理学のつながりに理解の深まることを望みます。本講義は医学部と保健医療学部の共通合同講義となっています。		
到達目標	心理学の基本概念と方法論を学習し、こころの世界を説明、解釈するための基礎知識を獲得する。 1. 科学的な心理学の方法論を説明できる。 2. 知覚・認知の諸概念を説明できる。 3. 動機づけと情動の基本概念を説明できる。 4. 人格と知能の諸概念を説明できる。 5. 記憶と思考の原理を説明できる。 6. 心理学の医療への応用として、条件づけ、認知行動療法を説明できる。		
関連科目	心理学演習		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	レポート	90%	講義の際のレスポンスシートとレポート課題で評価する。
	提出物	10%	
教科書	指定なし		
参考書	①スザンヌ・コーキン [2014 年] 「僕は物覚えが悪い」 早川書房 ②キース・スタノヴィッチ [2008 年] 「心は遺伝子の論理で決まるのか」 みすず書房		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	心理学とは? : ガイダンス/心理学とは	事後 : 配布資料の確認	講義	高橋
2	行動の生物学的基礎 : 心理・行動の脳内基礎課程の概説	〃	〃	加藤
3	知覚・認知 : 知覚の“見える”と認知の“見る”の違い	〃	〃	〃
4	注意 : 注意の類型とヒューマンエラー	〃	〃	〃
5	意識 : 覚醒・アウェアネス・メタ認知と睡眠	〃	〃	〃
6	学習 : 条件付けと社会的学習	〃	〃	高橋
7	記憶 1 : 記憶の 3 つのシステム	〃	〃	〃

8	記憶2：忘れる、思い出すとはどのようなことか？	〃	〃	〃
9	知能：知能の個人差と発達、遺伝と環境	〃	〃	〃
10	思考1：人間の思考の特徴—2重過程モデルから	〃	〃	〃
11	思考2：原因帰属—人間は何に原因を求めるか	〃	〃	〃
12	動機付けと情動：動機付けとは何か、情動とは何か、その主なものはなにか。	〃	〃	〃
13	パーソナリティ：パーソナリティとは・パーソナリティの測定	〃	〃	〃
14	臨床心理学1：心の健康とは	〃	〃	〃
15	臨床心理学2：心理臨床の現場	〃	〃	橋本